

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」  
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	産能短期大学	整理番号	2-2-045
応募テーマ	主として教育課程の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	体験学習「課題実践」を核とする教育課程		
申請単位	学科単位		
申請担当者	池内 健治		
(取組の概要)			
<p>本取組は、開学以来の教育目標「マネジメント実践力の育成」を、時代にマッチした新たなアプローチで実現することをねらいとしている。「マネジメント実践力の育成」を「働く基本能力の育成」と捉え直し、その実現を目的とした教育課程を編成した。この教育課程は体験学習の方法を学ぶ導入科目群とリテラシー科目群をベースに、核となる科目「課題実践」プログラムから成り立っている。</p> <p>「課題実践」は、学内外の依頼者から依頼を受けた課題テーマを約 25 名のクラスで、1 年間を通してチームで課題達成する体験学習授業である。全学の共通科目(必修)として位置づけ、教育成果をあげるために教員の授業能力の向上をはかる FD 活動の確立及び教職員組織が連携した運営支援システムの確立に努めている。教育効果の測定は多面的な評価方法を採用しており、その結果から学生の学習への動機づけや働く基本能力の向上を捉えている。今後更に学生が高い学習効果を得られるように体験学習の教育研究を継続して行く。</p>			
(採択理由)			
<p>建学の精神に基づく「マネジメント実践力の育成」を総合的な体験学習による課題実践により実現したものです。一年次では「課題実践」に必要な学習方法をマスターし、それを基にして二年次において 1 クラス 25 名の少人数で体験学習を行うわけですが、自己学習力の向上に加え、活動を通して学生間のコミュニケーションも深まり、社会性もつちかわれます。教員の授業運営能力も問われる授業ですが、授業参観や教員研修を行うことにより教員の能力も高めています。社会が必要とする能力をそなえた人材育成開発プログラムとして大変成果が期待できるものです。</p>			